

受講者出欠報告書 総括票(訓練実施基本奨励金支給申請関係書類)(~20人)

① (平成・令和)2年1月14日~平成・令和2年4月13日分)

株式会社□□□□  
200000000  
○○○○○○基礎科  
■訓練コース番号 4-●●-01-01-00-0000

① 支給申請を行う訓練期間を記入します。(=支給対象期間)

⑤ 出席率は支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における④総出席日数÷③総訓練日数として算定します。  
・小数点以下は切り捨てとします。

施設名ではなく機関名で記入してください。

番号	①受講者名 ②	免除者	②就職支援計画を作成した公共職業安定所 ⑦	③総訓練日数	④総出席日数	⑤支給対象期間の出席率 ⑤	⑥支給対象期間の出席率が8割未満の場合、出席率8割以上の支給単位数の数 ⑥
1	芦別 冬子		滝川	56	52	92%	
2	岩見沢 夏子		岩見沢	56	55	98%	
3	宇登呂 太郎		札幌	56	55	98%	
4	江差 陽太		江別出張所	55	42	76%	2
5	帯広 海		帯広				
6	木古内 咲		函館				
7	札幌 陸		札幌 (職業相談第三部門)				
8	鹿追 雪		帯広				
9	寿都 久美子		岩内				
10	津別 あかね		美幌分室				
11	弟子屈 草太		釧路				
12	苫小牧 健太		苫小牧				
13	室蘭 牧(旧姓 泊村)		岩内				
14	名寄 大樹		名寄	56	53	94%	
15	稚内 青子		稚内	51	51	100%	
16							
17							
18							
19							

⑦  
・公共職業安定所名については、就職支援計画書(様式第4号 第1面)の管轄公共職業安定所又は管轄地方運輸局欄のとおり記入してください。  
※注意※  
平成30年4月より札幌公共職業安定所の表記については、「札幌」と「札幌(職業相談第三部門)」のいずれかとなります。

③  
・支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における出席管理の対象となる訓練日数を記入します。(中途退校者は中途退校日までの訓練日数を記入します。)

⑥  
・支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における出席率が80%未満の受講生についてのみ、各支給単位数期間(1か月単位)について出席率が80%以上の支給単位数期間の数を記入します。

(※) 受講者名は五十音順に受講者名簿(様式A-28 別添1)と同じ順番通りに記入します。  
・中途退校者や出席率が80%未満の受講者も記入します。  
・訓練受講中に姓が変わった場合には、(旧姓 ●●)と付記します。

間ごとに本報告書1枚を使用してください。  
提出する受講者名簿において付番する番号の順に記載してください。  
訓練日数(出席管理の対象となる日、中途退校者については、退校日までの出席日数)は「総訓練日数」は「総時限数の2分の1」を受講した日に2分の1のこと。  
「出席率」は、当該支給申請を行う期間(3か月ごと又は全訓練期間)の率(中途退校者については、退校日までの当該期間における出席率)とし、小数点以下は切り捨てます。  
⑥の欄は、⑤の「支給対象期間の出席率」が8割未満の場合のみ記載してください。支給単位数期間は1か月単位です。  
免除者欄については、職業能力開発講習の受講免除者に該当する場合に、「○」を記入してください。